



## 盛岡市プレスリリース

～ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡～

令和5年9月22日

都市整備部

建築指導課

市政記者クラブ加盟社 各位

# 要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果等の公表内容の更新について

盛岡市では、平成25年に改正された「建築物の耐震改修の促進に関する法律(平成7年法律第123号)」により、昭和56年5月以前に工事着手された建築物のうち、不特定多数の者が利用する大規模な建築物等(要緊急安全確認大規模建築物)について、当該建築物の所有者から報告された耐震診断の結果等を平成29年3月に公表をしています。

このうち、今回、岩手医科大学付属病院(現岩手医科大学附属内丸メディカルセンター)に関する公表内容を修正するほか、公表後に耐震改修や解体工事が行われた建築物について下記のとおり公表内容を更新します。

### 記

#### 1 更新日

令和5年9月22日(金)

#### 2 更新の内容

裏面 資料1(朱書き部分)のとおり

#### <要点>

##### ○岩手医科大学付属病院(現岩手医科大学附属内丸メディカルセンター)の修正について

公表対象となっていた「6・7号館」について、平成29年の公表時には、用途廃止し使用しないとされていたものが、令和5年度の協議において、今後も長期にわたり使用を継続するという方針が示されたことから、令和2年度に報告された同館の耐震診断結果を、公表済みである「10号館」の診断結果に加えて公表するものです。

##### ○その他公表内容を更新する建築物

###### 【改修工事が完了した建築物】

① 岩手県民会館 ② パルクアベニュー・カワトク(本館) ③ ロイヤルホテル盛岡

###### 【解体工事が完了した建築物】

② N a n a k(旧中三盛岡店) ② ホテルルイズ ③ 岩手県立療育センター

##### ○公表方法及び閲覧場所

盛岡市ホームページに掲載しているほか、市役所都南分庁舎2階の建築指導課において閲覧できます。閲覧内容は、ホームページと同様の内容となります。

##### ○問合せ先

都市整備部 建築指導課 防災係 高萩 覚

TEL019-651-4110(内線7229)

## 耐震診断の結果の公表(用途別更新一覧)

※朱書き部分が当初公表時からの更新を示す

## 病院・診療所

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	岩手医科大学附属病院 (現岩手医科大学附属内丸メディカルセンター)	内丸19-1	病院	—	—	—	—	—
	10号館					未定	未定	「耐震改修」を指示
	6・7号館					未定	未定	「耐震改修」を指示

## 劇場、観覧場、映画館、演芸場

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	岩手県民会館	内丸13-1	劇場	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_b/I_{50} = 1.25$ $C_{ru} \cdot S_p = 0.75$			平成30年8月 改修工事完了

## 百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	Nanak(旧中三盛岡店)	中ノ橋通一丁目6-8	物販店	—	—			令和5年6月 解体工事完了
	第1工区(北側:昭和31年)					$I_b/I_{50} = 0.31$ $C_{ru} \cdot S_p = 0.19$		
	第2工区(東側:昭和39年)					$I_b/I_{50} = 0.05$ $C_{ru} \cdot S_p = 0.08$		
	第3工区(西側:昭和46年)					$I_b = 0.22$ $q = 0.49$		
	第4工区(西側:昭和56年)					$I_b = 0.52$ $q = 1.74$		
2	バルクアベニュー・カフトク(本館)	菜園一丁目10-1	物販店	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及「第3次診断法」(2009年版)(鉄骨が充て材の場合)	$I_b = 0.81$ $C_{ru} \cdot S_p = 0.47$			令和2年1月 改修工事完了

## ホテル、旅館

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	ホテルロイヤル盛岡	菜園一丁目11-11	ホテル	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(鉄骨が充て材の場合)(1997年版)	$I_b/I_{50} = 1.06$ $C_{ru} \cdot S_p = 0.33$			令和2年8月 改修工事完了
2	ホテルルイズ	盛岡駅前通7-15	ホテル	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1997年版)(鉄骨が充て材の場合)	$I_b/I_{50} = 1.01$ $C_{ru} \cdot S_p = 0.29$			平成31年 解体工事完了

## 老人ホーム、老人短期入所施設、身体障害者福祉ホームその他これらに類するもの

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	岩手県立療育センター	手代森6地割10-6	児童福祉施設	—	—	—	—	平成29年10月 解体工事完了
	サービスマン棟、管理棟							
	学習棟、訓練棟					用途廃止		

$I_b$ : 構造耐震指標。建物の耐震性能を表す指標。この数値が大きいほど耐震性能が高くなる。

$I_{50}$ : 構造耐震判定指標。想定した地震動レベルに対して建物が安全であるために必要とされる指標。(今回は、 $I_{50} = 0.6$ として算定した)

$C_1(C_{ru}) \cdot S_p$ : 建物の強度指標。経常指標により建物の耐震性能を表す。この数値が大きいほど耐震性能が高くなる。

$q$ : 鉄骨造の場合の建物の耐震性能を表す指標。この数値が大きいほど耐震性能が高くなる。

○大規模の地震(震度6から7)に対して倒壊し、又は倒壊する危険性が高い

$I_b < 0.3$  又は  $q < 0.5$ 、 $I_b/I_{50} < 0.5$ 、 $C_{ru} \cdot S_p < 1.5$

○大規模の地震(震度6から7)に対して倒壊し、又は倒壊する危険性がある

$I_b < 0.6$  又は  $q < 1.0$ 、 $I_b/I_{50} < 1.0$ 、 $C_{ru} \cdot S_p < 0.3$